

平成 29 年度 事業計画

I. 社会福祉助成・支援事業

1. 社会福祉関係者に係る研修・研究事業に対する助成

社会福祉法人等が実施する「福祉関係者の専門性向上」に寄与する先駆的研修、研究事業等に助成を行う。

(1) 平成 29 年度 社会福祉助成金交付

- ①助成件数 : 47 件
- ②助成額 : 1,787 万円
- ③助成事業成果報告 : ホームページ他に掲載
- ④助成先事業の視察

(2) 平成 30 年度 社会福祉助成事業の実施要綱

①平成 30 年度 社会福祉助成事業募集 (対象: 社会福祉関係者)

ア、研修事業

- ・集合研修: 福祉サービスのあり方や専門的知識、技能の習得等をテーマとして開催される集合研修 (研修会・セミナー等)

*対象経費: 講師謝金、交通費、宿泊費、会場費、
報告書作成費等

- ・派遣研修: 福祉施設職員等が幅広い視野と専門性を持って支援業務に携わるために他の福祉施設・団体等で一定期間実習する派遣研修

*対象経費: 交通費、宿泊費、報告書作成費

イ、研究事業

- ・実践研究: 各福祉分野の先駆性ある事業の実践を通して行われる成果、課題のまとめ等の実践研究

*対象経費: 実践研究事業費、調査経費、報告書作成費

- ・調査研究: 社会福祉関係者の専門性向上、現任訓練の方法や体系、また就労、福利厚生等をテーマとする調査研究事業

*対象経費: 調査経費、研究謝金・原稿料、報告書作成費

ウ、申請者: 原則として社会福祉法人とする。

(法人格のない申請者は、市町村社協の推薦を得て申請)

エ、助成限度額: 助成対象費目合計の 80% 以内かつ 50 万円以内

オ、助成総額: 2,000 万円程度

カ、申請期間: 平成 29 年 11 月 1 日～12 月 15 日予定

キ、選考方法：選考委員会で審議・選考し、理事会で最終決定

②助成事業予備選考会・選考委員会の開催

(3) 当年度実施の公募外事業への助成

ア、対象事業：研修、研究事業（公募以外の事業）

イ、申請者：原則として社会福祉法人

ウ、助成限度額：50万円程度

エ、助成予算額：200万円程度

オ、受付時期：随時

カ、選考方法：個別案件ごとに理事会決定

2. 社会福祉に関する諸活動に対する支援及び助成

(1) アジア福祉助成

全国社会福祉協議会の招請で福祉研修に参加したソーシャル・ワーカーなどが、帰国後に研修成果を活かして企画する障害児・者や貧困家庭などを支援する事業に助成し、日本とアジア諸国の福祉交流の醸成と福祉向上を図る。

①活動資金助成

ア、助成額：1団体30万円程度

イ、助成予算額：150万円程度

ウ、推薦：全国社会福祉協議会

②助成施設・団体の現地事業視察と福祉関係者の交流支援

アジアソーシャルワーカー（全社協研修生）セミナー推進など

(2) 東北復興車いす支援

震災被災地の仮設住宅や老人ホームなどに車いすを寄贈し、現地で車いす整備を行う工業高校生や大学生の復興支援活動に助成する。

①車いす支援（輸送、タイヤ購入）

②現地整備活動（大森学園高校、神奈川工科大学、新潟医療福祉大学など）

3. アジア等の障害者への車いす修繕・寄贈事業等に対する支援及び助成

工業技術を学ぶ高校生、大学生が、日本では廃棄される車いすを修理、再生してアジア各国の障害児・者や高齢者に寄贈する活動に助成する。

(1) 車いす修理ボランティア活動支援

メンテナンス・フリーで長く利用できるノーパンクタイヤを購入し、修理活動をする工業高校に支給する。また、修理講習会開催を支援し、修理技術の向上やボランティア活動の促進を図るために助成を行う。

① ノーパンクタイヤ・部品等の購入費助成

② 車いす配送費助成（学校⇒空港など）

③ 修理技術向上と修理活動促進のための活動への助成

修理講習支援（開催地：岩手県、東京都、神奈川県、新潟県など）

④ 『書損じはがき』収集活動推進

専用リーフレット等による広報活動の展開とはがき収集活動の推進

(2) 車いす輸送支援（アジア障害者支援）

修理校の増加により、輸送ボランティア（旅行者など）が運びきれない車いすが年々増えている。この車いすを速やかにアジア各国に届け、より多くの人に利用してもらうためにコンテナ船輸送を行う。また将来、アジア各国において現地ボランティアが車いすのメンテナンスを独力で行えるように、コンテナ船輸送にあわせて海外修理経験のある教職員、大学生などが現地で修理技術指導を行う。

ボランティアの旅行者がアジアへ届ける車いすを学校から空港に配送する経費やコンテナ船による輸送経費を助成する。

①空飛ぶ車いす（航空機輸送）（約 100 台）

ア、海外旅行者（ボランティア）による手荷物輸送

イ、海外修理講習者（大学生・高校生参加）による手荷物輸送

ウ、修理学校ネットワークによる手荷物輸送

②コンテナ船輸送

輸送先予定：タイ、スリランカ等（約 500 台）

4. 広報事業

(1) 日社済ホームページの公開、更新

①内容：本会事業の公開

ア、社会福祉助成事業（助成事業募集、助成事業成果報告など）

イ、アジア福祉助成事業

ウ、空飛ぶ車いすの支援事業

エ、社会福祉関係者の共済に関わる事業

オ、最新情報（お知らせなど）

②更新：随時

(2) 日社済事業の広報強化

①広報誌の発行

ア、内容：助成事業成果報告など

イ、発行回数：年 3 回程度

ウ、発行部数：各 3 5 0 0 部

エ、配布先：県・指定都市社協、市町村社協、助成金交付施設等

②車いす

空飛ぶ車いす事業など本会公益事業について、福祉団体・マスコミ等への広報強化

Ⅱ. 社会福祉関係者の共済に係る事業

1. 団体扱保険料収納事業

ジブラルタ生命保険(株)と提携して、社会福祉法人などの福祉関係法人、社会福祉施設及び関係団体（「会員」という）に勤務する役職員、構成員及びその家族を対象に「団体扱個人保険」を取り扱い、『日社済 福祉の共済』として位置づけ、保険料収納事業を実施する。

2. 会員施設サービス事業（ライフサポートクラブ）

リソル・ホールディングス（旧社名：リゾートソリューション）と提携して、会員施設の役職員とその家族向けに福利厚生サービスを会員価格で利用できる制度を実施する。